

ハナヤサイ（カリフラワー）のカルテック施肥例

(10アール当り)

		(夏蒔き) 秋穫り栽培	(秋蒔き) 春穫り栽培 <暖地>
地力作り	なるべく早い時期に (定植までに一か月以上おくこと)	ラクト・バチルス 600g … 保水・通気性よく、肥沃な土に 堆厩肥 2トン以上 (なるべく多く)	硫安 100kg (N成分:20kg程)
		硫安 60kg (N成分:12kg程)	
		※もし堆肥が少なく、土が痩せている場合は 硫酸カリ 20kg追加。 ※ 土壌pH:6.0~6.5 を目標とし、もし土が酸性なら(特にpH:5.5以下なら)、地力作り時にも〈畑のカルシウム〉を投入して、土層全体を中和しておきます。特に根コブ病の頻発する畑では、要注意です。	
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布	畑のカルシウム 60kg … 健康な生長、花蕾の充実のための栄養	
育苗	散水時に使用	播種床、移植床の施肥…平米当り 硫安 20g, 畑のカルシウム 20g 濃縮酵素液 1000倍 … 根を強くし、生長を促進 カルテックCa液状 1000倍 … 葉を厚くし、充実させる 7日間隔で交互に、葉の上からタツプリ散布します。 特に播種・移植後の灌水には酵素液を。	
定植時	定植前後の灌水の時に	濃縮酵素液 500倍液 … 初期の根張り促進, 根コブ軽減	
前半の調節	葉面散布 ／灌水 状態により適宜	濃縮酵素液 500倍液を葉面散布 (根・生長の促進) 生育を強くするには、特に前半は根の力をつけること。 ★特に生長が弱い場合、根コブが心配なら、 灌水 施用で回復。 原液3~10リットルを灌水(300倍前後) アミノ酸液 800倍で葉面散布(チツソ補給) 肥切れの時に。 カルテックCa液状 500倍 (生育を引締め、葉の病害対策) チツソ過多が心配な時。日射・高温の障害に強くする。	
追肥	追肥して中耕、土寄せ	①定植後 30日 ②定植後 50日 (花蕾分化期) 各、 硫安 30kg 畑のカルシウム 30kg	①定植後 20日 ②定植後 45日 (出蕾始め) 各、 硫安 20kg 畑のカルシウム 20kg ※状態により追肥回数を増やす。
途中調節	状態により適宜	軟白…花蕾が見えたら外葉で覆う 結束…花蕾8cmほどで外葉を結束 濃縮酵素液 …根の回復、生長を進める カルテックCa液状 …葉の厚み、花蕾の充実、凍霜害に強くする どちらも 500倍で葉面散布、または2~3リットルを希釈灌水。 半月ごとに交互散布がよい。	
仕上げ	収穫前15日	カルテックCa液状 500倍 葉面散布	

	頃、葉面散布	…花蕾・花茎を充実させ、旨味を増し、品質を向上させます。
--	--------	------------------------------